近年小倉南区で生産が増えている「かつお菜」の初出荷が行われました

かつお菜は、アブラナ科の野菜で高菜の近縁種とされ、「魚のかつおに味わいが似ている。」や「かつおの出し汁がいらない程味がある。」ことから名づけられたとも言われており、博多では古くから縁起物として正月の雑煮には欠かせない野菜の一つとされてきました。

北九州地域では、まだなじみの薄い野菜ですが、小倉南区で５０年程前から水稲裏作の冬野菜として栽培がはじまり、近年生産を増やして県内トップクラスの産地になっています。

かつお菜はアクが少ないうえ、熱を通すと旨みが出て、ほんのり甘味が感じられる野菜です。汁の具や、煮物、和え物、炒め物など幅広く使用できます。

このほど１１月１４日に初出荷を行い、来年３月上旬までの生産が始まりました。市内のスーパーや青果店等で購入することができます。

記

１　出 荷 期 間　　１１月中旬～３月上旬
２　主な生産地域　　小倉南区　山本、春吉、高津尾、長行

【問い合わせ先】
・北九州農業協同組合　北九州東営農課
　　電話：451-9210（直通）
・産業経済局 東部農政事務所
　　電話：951-1020（直通）